

地域で学び、地域で育つ琴高生 創立80周年へ

春とはいえまだ浅く、寒さの名残が感じられる日が続きます。地域の皆様方には日頃より琴高生を暖かい眼で見守り、また様々な場で励まして頂き誠にありがとうございます。

さて、本校では、「地域で学び地域で育つ琴高生」という言葉を、地域との関わりを大切にし地域の教育力を活かして生徒を育てていこうとする本校の願いを表現するものとして、使っています。私が本校に赴任して間もない頃、地域の行事の反省会で、地域の方からお礼の言葉をかけてもらった時の生徒のうれしそうなお顔を今でも覚えています。生徒たちにとっては、ボランティア活動として何かしてあげることよりも、ボランティア活動を通じて受け取るものの方がはるかに大きいのではないかと思います。何より、彼らはボランティア活動を通じて、自信がない自分から自信が持てる自分へと成長していきます。

また、本校において地域活動とともに生徒が成長する大きな機会を提供しているのは、部活動です。剣道部やなぎなた部、弓道部は、全国的な成果をあげていますが、これらの武道を中心に、野球部やサッカー部など、単に勝つことをめざすのではなく、部活動を通しての人格形成にも力を注いでいます。

琴平高校は、今後も、ボランティア活動や地域貢献の活動に積極的に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



琴平高校の
教育の二つの柱
校長 山本 恵三

★ 琴 高 通 信

第19号

編集発行

香川県立琴平高等学校
香川県仲多度郡
琴平町142-2
電話0877(73)2261

紙面の紹介

- 一面 ◆ 防災頭巾の制作活動・創立八十周年に向けて Vol.2
- 二面 ◆ 対談・ACTことひら芸術祭・制服モデルチェンジ
- 三面 ◆ 文化部・授業の取り組み
- 四面 ◆ とらすとK・弓道部全国大会出場・主な部活動戦績

防災頭巾の制作活動



「とらすとK」より、たび重なる有感地震がおさまらない日々を送っている熊本の保育園の子どもたちのための防災頭巾の作成の依頼を受け、三年生の服飾手芸と生活科学の授業を選択している生徒44名が作成しました。もちろんミシンや縫いがが苦手な生徒もいますが、わいわい楽しく、ときに手間取りながらも、「少しでも子どもたちの力になれたら」と全員が1つ以上仕上げることができました。子どもたちにもわかりやすいようにフェルトのナンバーを一針一針縫いでアップリケし、琴平町のマスコット「こんぴくん」のワッペンを貼りつけた琴高のスクールカラー緑のギンガムチェックの防災頭巾。メッセージカードと生徒の笑顔の写真も添えました。

この活動を通して生徒たちは、震災を遠い地域の人のことではなく、自分も被災地の方の力になることができるといふ実感をもつことができました。生徒たちの心に一生残る経験になると思いますが、今後も、人のために自分にできることをやってみようという気持ちにつながればと願っています。



創立八十周年に向けて Vol.2

前号でもお知らせしたように、今年11月11日(土)に開催される創立八十周年記念講演会では、本校卒業生の本広克行監督を招いてのトークショーを予定しています。

本広監督は、1965年に丸亀市に生まれ、地元の小学校、中学校を卒業後、琴平高校に入学。高校卒業後、横浜放送映画専門学校(現・日本映画大学)に入学。テレビのアシスタントの仕事を経て、深夜ドラマ『悪いこと』にて監督デビューを果たしました。1996年、『7月7日、晴れ』で映画監督初仕事。TVドラマ『お金がない!』で織田裕二と知り合い、織田の推薦により『踊る大捜査線』のチーフ演出に抜擢。その後、このドラマの映画版シリーズを監督し、日本アカデミー賞優秀監督賞を2回受賞しています。『UDON』(2006年)、ももいろクローバーZを主役にした『幕が上がる』(2015年)など、多くのヒット作を手掛けています。

次回第20号では、記念式典・記念講演会について、さらに詳しい内容を掲載する予定です。お楽しみに。

とらすとKの活動十二年

最初の一步、そしてこれから……

香川県は、天災の少ない住みよい土地だと思われている人は多いと思います。しかし、二〇〇四年は違っていました。台風二十三号が襲い、土砂崩れなどで死者十一人をはじめとする多大な被害が出たのです。災害の爪痕の残る山を見上げた日を思い出す方もいるでしょう。この年は国内外で天災の多い年で、「災」が今年の漢字に選ばれたほどでした。天災の恐ろしさを身近に感じるとともに、助け合い乗り越えていく人々の姿も目にしました。災害は他人事ではないし、私たちにもできることがあるのではないかと考えさせられる日々でした。



翌二〇〇五年、神戸の震災高齢者に手紙を送る「とらすとK」の活動が始まりました。「被災地から遠く離れた香川の高校生にもできること」の第一歩です。昨年の熊本地震では、「お茶わんプロジェクト」という新しい支援活動に参加しました。

これからも、私たちにできることを、できる範囲で続けていきたいと思っています。

主な部活動戦績

なぎなた部
団体 県総体 優勝(34年連続)、四国大会 準優勝
全国総体 5位入賞
個人試合の部 県総体 優勝(岩崎)、準優勝(鎌田)
四国大会 準優勝(鎌田)、3位(大野)
全国総体出場(岩崎、鎌田)
個人演技の部 県総体、四国大会優勝、
全国総体出場(森・高家) (大野・秋山)
県総体、四国大会準優勝(大野・秋山)
県総体、四国大会3位(近石・山下)

剣道部
男子団体 全国選抜大会出場
男子個人 県総体 優勝(村上) ベスト8(福原・村上)
四国大会 出場(福原・村上・村上)
全国総体 出場(村上)
女子団体 県総体 優勝、四国大会出場、全国総体出場
女子個人 県総体 優勝(福田) 3位(山神) ベスト8(福田小)
四国大会出場(福田、山神・福田小)
全国総体出場(福田)

弓道部
男子団体 県選抜大会優勝 四国新人大会出場
全国選抜大会 出場
男子個人 県選抜大会優勝、全国選抜大会出場(伊藤)
女子団体 県選抜大会4位 県総体ベスト8
四国新人大会出場
女子個人 県総体 決勝進出(藤井・長尾)
県選抜大会優勝、全国選抜大会出場(森)

陸上競技部
男子400m 県総体3位、四国大会出場(松本)
男子4×400mR 四国大会出場(松本・星・横関・秋山)

山岳部
男子団体 県総体2位 四国大会8位
男子個人 国体県予選3位(濱口)

女子バレーボール部
県選手権大会 ベスト8

放送部
県放送コンテスト 団体2位、朗読部門2位(河野)
NHK杯全国放送コンテスト、
全国総文祭 朗読部門出場(河野)
県放送コンテスト 朗読部門3位(土井)

書道部
全国高校書道展文学部長賞(宮崎)
県総文祭優秀賞(村田)

弓道部

第三十五回全国高等学校弓道選抜大会出場 (愛知県名古屋市)

男子4名と女子1名が愛知県名古屋市の全国選抜大会に出場しました。アリーナ特設道場の独特の雰囲気や、他校のレベルの高い射技やチームワークを目の当たりにし衝撃を受けながらも、自分のいつもの射をして力を出し切ろうと、落ち着いて臨めました。来年度の総体に向けて、普段の稽古で何を強化するか、遠征先でどう過ごすかなど、課題を得ることができました。また、家族や先生方が応援してくださることや、仲間と目標をもつて頑張れることのありがたさを再認識することができ貴重な経験となりました。応援ありがとうございました。



琴平高校は2015年度にHPをリニューアルしました。学校の情報や行事の様子などを随時発信しています。ぜひご覧ください。

教職員・スタッフ一同 よろしくお祈りします。



恩師と教え子対談



剣道部の氏家幹雄先生と宮田武先生、なぎなた部の三井千壽先生と教え子の白川未樹先生です。

Q 高校時代の恩師の印象は？
宮田 剣道の姿勢（剣風）が、琴高らしく堂々としていてすごいと思った。

白川 琴高を全国制覇に導いてきた先生は凛々しくてかっこいいと思った。

Q 教え子の印象は？
氏家 お父さんと同級生だったのが生まれてから知っていた。高校3年生の時、県総体で個人優勝した時のイメージが強い。

三井 高校入学の時は、体が大きくすぐく期待していたが、気持ち小さかったのがそこが成長して欲しかった。

Q 褒めてもらったエピソードは？
氏家 恩師の意外な一面は？

白川 四国総体団体戦決勝でラスト3秒で1本取って追いつき優勝につなげた時、先生から「ようやった」と褒めてもらえて嬉しかった。

三井 覚えてますよ。リードされて皆泣いてたけど、主将のこの子が「まだ負けとれへん、泣いたらいかん」と言ったのが1番だった。

Q 二人が成長したところは？
氏家 宮田君は真面目な性格で一生懸命授業に取り組んでいる。生徒と年齢も近くたくさん動いてコミュニケーションが取れる教師になっている。

Q 恩師の先生はどんな存在ですか？
宮田 生徒の気持ちやその場面によって接し方を変えられているところが、とても勉強になっています。

白川 三井先生はお母さんのような存在で礼儀作法や生徒との接し方を教えて頂いてきた。なぎなたの指導は、本当にすごくて、状況に応じて生徒にける言葉で彼女たちの動きが変わるのがわかる。積まれてきた経験が全然違う！

Q 恩師の意外な一面は？
三井 年が近いので生徒と距離感が近くなつてしまっていたが、少しずつ教師らしい距離をとれるようになってきている。

Q 恩師の先生はどんな存在ですか？
宮田 生徒の気持ちやその場面によって接し方を変えられているところが、とても勉強になっています。

宮田 第一印象は厳しいけど、生徒に対して面白いことをたくさん言う。(笑)

白川 お笑いが好きで特にTKO！時にはギャグを言ったりする。(笑)

Q 二人に期待すること、部に引き継いでいって欲しいことは？
氏家 言われたことは完璧にできるが、気付かないところもまだまだ多いので、気付けて進んでやって欲しい。部の指導では、良き伝統をこれからも引き継いでいって欲しい。

三井 生徒の様子がちよっと変だなと感じることができると指導が上手くいくようになる。心の動きに応じて声を掛けられるようになって欲しい。

部の伝統の力は大きい。生徒たちがそれを感じて次の後輩達に引き継いでいって欲しい。

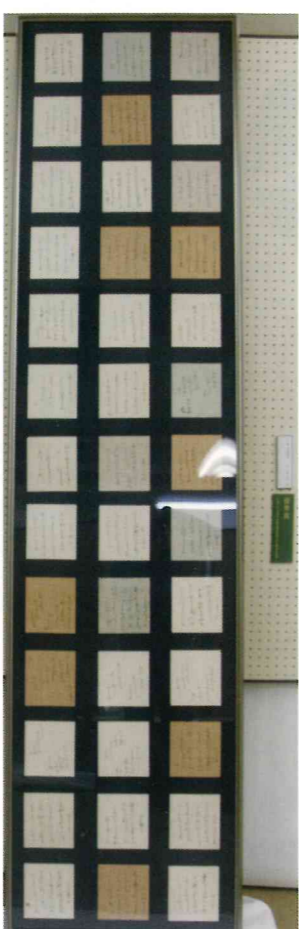


書道部

第33回香川県高等学校総合文化祭に出品しました。一年生のころから仮名の作品に興味があり、制作に取り組んできました。今回出品した作品も「臨 寸松庵色紙」という仮名を臨書した作品です。臨書とは古くから伝わる作品を手本にしながら制作することであり、「寸松庵色紙」は平安時代を代表する名作の一つです。作品に使用した料紙も当時の色彩に近いものを選びました。

このたび優秀賞をいただき、来年度に宮城県で行われる第41回全国高等学校総合文化祭への出品に推薦されましたが、それはひとえに指導してくれた先生方や支えてくれた家族、仲間たちのおかげだと思っています。まだまだ未熟な作品ですが、これからもよりよい作品を書けるように日々、精進していきます。

二年 村田 加那



家庭科

今年度は10月29日（土）に琴平町社会福祉協議会主催のガリック娘料理コンテストを食物教室で実施しました。3年生6名が一次審査に通り、高校生の部に出場しました。直前まで試行錯誤を繰り返して、本番で成功するように一生懸命練習しました。さぬぎの特産物を活用し、食材の組み合わせ、彩りも工夫しました。当日は少し緊張しましたが、何度も練習した成果を発揮できたように思います。一般の部の方々の料理も見せていただき、調理過程の手際の良さや見た目の美しさ、など非常に勉強になりました。



郷土芸能同好会

第五回宗家藤間流八世宗家藤間勘十郎公演に出演

11月16日17日に開かれた第五回宗家藤間流八世宗家藤間勘十郎「古典芸能の世界」のワークショップ「古典への誘い」に三番叟の三味線の演奏で出演しました。限られた練習時間の中で、トップレベルの踊り手と奏者の方に短時間集中で教えていただきます。そして先生方が帰られた後は、先輩後輩教え合いながら夜遅くまで稽古。本番は着慣れない袴に袴をつけ、厳粛な雰囲気の中で緊張の一瞬でした。直前まで出演者の方々が緊張をほぐして下さり、そして演奏では踊り、演奏の双方からのサポートに支えられ、これまでの稽古の成果を出し切ることが出来ました。幕が下りると惜しみない拍手が響きます。今回若い世代への古典芸能の普及というこのワークショップの目的に貢献できる形となり、また技術の向上も含め、非常に濃い時間を過ごすことができました。



吹奏楽部

(ACT・3月定期演奏会)

吹奏楽部は、地域のボランティアや演奏活動を中心に活動しています。今年1月には琴高芸術祭で、ACTことひらにて演奏会を行いました。この演奏会では多くの方々にご来場いただき、大変ありがとうございました。3月5日にも、場所が変わりますが、琴平町立文化会館にてコンサートの開催を予定しています。映画やCMなどでおなじみの曲、どこかで聞いたことのある懐かしの曲、世代を超えて愛される演歌など、様々な曲を演奏する予定です。たくさんの方々のご来場をお待ちしています！

吹奏楽部コンサート

3月5日（日）
13時30分開演（13時開場）
15時頃終了予定
会場：琴平町立文化会館



保育実習

(6月9日、22日、11月19日)

2年生「子どもの発達と保育」選択者25名が、琴平町立南幼稚園で保育実習を行いました。今年度は幼稚園で収穫した梅を使って梅ジュースをつくって持参しました。また、グループに分かれてレクリエーションを行いました。手遊びやなぞなぞ、体操、手品など、楽しい時間を過ごすことができました。実際にやってみると課題にも気づき、反省点を次回の交流に活かして、より有意義な時間にしていきたいと考えています。

琴平高校芸術祭

2017年1月7日(土)～27日(金)



7日 お茶席

7日～10日 華道展



13日～20日 家庭展・美術展

21日～27日 写真展・書道展



21日 吹奏楽部コンサート

琴平高校制服
ネクタイ・リボンが
変わります。

変更の理由として、かねてから男子と女子のネクタイ・リボンの柄が違うことに関して、生徒から質問などがありました。本校も平成29年度に創立80周年を迎えることになり、ネクタイ・リボンは男女統一柄に変更になります。

この新デザインはスクールカラーの緑をベースに、琴平地域をイメージした紺、赤、金のラインで構成されています。

平成29年（2017年）1月7日から27日にかけて、ACTことひらにて琴平芸術祭が開催されました。茶華道部によるお茶席に始まり、家庭科の授業で作成した作品の展示、美術部の絵画展示、吹奏楽部によるコンサート、写真部・書道部の作品展示が行われました。学校外で地域の皆様にご覧いただくことで、制作意欲や活動意欲の向上につながっています。今年も多くの方々にご来場いただき、本当にありがとうございました。